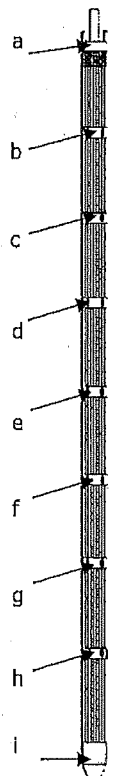


再組立燃料集合体検査結果（表面汚染）

契約名	1F6 新燃料所外搬出業務		
部品名	再組立燃料集合体	顧客名	東京電力HD株式会社殿
燃料集合体No.	F6ABN124	検査要領書番号	NTB-6698

確認者		確認日	2020.11.4			
規格	検出限界未満であること。					
測定用試料採取方法	スミヤろ紙1枚で拭取面積100cm ² となるように全体的に採取する。 （測定結果（Bq/cm ² ）を記入する。） 検出限界（α核種：0.77 Bq/cm ² 、α核種以外：1.73 Bq/cm ² ）					
測定対象	試料採取箇所	スミヤ番号	α核種※	α核種以外※	判定	
a. 上部タイプレート	把手部 および側面部	1	N.D	N.D	合・否	
b. 第7スペーサ	側面部	2	N.D	N.D	合・否	
c. 第6スペーサ	側面部	3	N.D	N.D	合・否	
d. 第5スペーサ	側面部	4	N.D	N.D	合・否	
e. 第4スペーサ	側面部	5	N.D	N.D	合・否	
f. 第3スペーサ	側面部	6	N.D	N.D	合・否	
g. 第2スペーサ	側面部	7	N.D	N.D	合・否	
h. 第1スペーサ	側面部	8	N.D	N.D	合・否	
i. 下部タイプレート	側面部	9	N.D	N.D	合・否	

※α核種及びα核種以外の項目で同じ数値が連続する場合、レ点用いて記入を簡略化する。

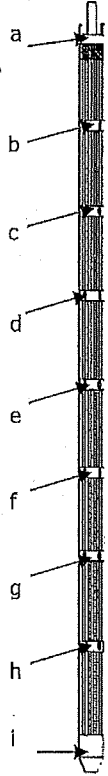
測定機器名	SSC-101	測定機器番号	R13 579 R13 780
-------	---------	--------	--------------------

検査者		検査日	2020.11.4	
検査項目	規格	検査方法	判定	
工程確認記録	工程確認項目（表面汚染）が規格を満足していること。	工程確認項目の判定結果を目視により確認する。	合・否	

顧客確認者		顧客確認日	2020.11.4	
-------	--	-------	-----------	--

再組立燃料集合体検査結果（表面汚染）

契約名	1F6 新燃料所外搬出業務		
部品名	再組立燃料集合体	顧客名	東京電力HD株式会社殿
燃料集合体No.	F6ABN134	検査要領書番号	NTB-6698

確認者		確認日	2020.11.5			
規格	検出限界未満であること。					
測定用試料採取方法	スミヤル紙1枚で拭取面積100cm ² となるように全体的に採取する。 （測定結果（Bq/cm ² ）を記入する。） 検出限界（α核種：0.172 Bq/cm ² 、α核種以外： ^{0.72/2.6} Bq/cm ² ）					
測定対象	試料採取箇所	スミヤ番号	α核種※	α核種以外※	判定	
a. 上部タイプレート	把手部 および側面部	1	N.D	N.D	合・否	
b. 第7スペーサ	側面部	2	✓	✓	合・否	
c. 第6スペーサ	側面部	3	✓	✓	合・否	
d. 第5スペーサ	側面部	4	✓	✓	合・否	
e. 第4スペーサ	側面部	5	✓	✓	合・否	
f. 第3スペーサ	側面部	6	✓	✓	合・否	
g. 第2スペーサ	側面部	7	✓	✓	合・否	
h. 第1スペーサ	側面部	8	✓	✓	合・否	
i. 下部タイプレート	側面部	9	✓	✓	合・否	

※α核種及びα核種以外の項目で同じ数値が連続する場合、レ点用いて記入を簡略化する。

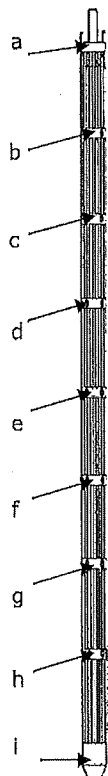
測定機器名	SSC SE - 101	測定機器番号	R13 779 R13 780
-------	----------------------------	--------	--------------------

検査者			検査日	2020.11.5	
検査項目	規格	検査方法		判定	
工程確認記録	工程確認項目（表面汚染）が規格を満足していること。	工程確認項目の判定結果を目視により確認する。		合・否	

顧客確認者			顧客確認日	2020.11.5	
-------	--	--	-------	-----------	--

再組立燃料集合体検査結果（表面汚染）

契約名	1F6 新燃料所外搬出業務		
部品名	再組立燃料集合体	顧客名	東京電力HD株式会社殿
燃料集合体No.	F6ABN133	検査要領書番号	NTB-6698

確認者		確認日	2020.11.6			
規格	検出限界未満であること。					
測定用試料採取方法	スミヤろ紙1枚で拭取面積100cm ² となるように全体的に採取する。 (測定結果 (Bq/cm ²) を記入する。) 検出限界 (α核種: 0.169 Bq/cm ² 、α核種以外: 1.26 Bq/cm ²)					
測定対象	試料採取箇所	スミヤ番号	α核種※	α核種以外※	判定	
a. 上部タイプレート	把手部 および側面部	1	N.D	N.D	合・否	
b. 第7スペーサ	側面部	2	✓	✓	合・否	
c. 第6スペーサ	側面部	3	✓	✓	合・否	
d. 第5スペーサ	側面部	4	✓	✓	合・否	
e. 第4スペーサ	側面部	5	✓	✓	合・否	
f. 第3スペーサ	側面部	6	✓	✓	合・否	
g. 第2スペーサ	側面部	7	✓	✓	合・否	
h. 第1スペーサ	側面部	8	✓	✓	合・否	
i. 下部タイプレート	側面部	9	✓	✓	合・否	

※α核種及びα核種以外の項目で同じ数値が連続する場合、レ点用いて記入を簡略化する。

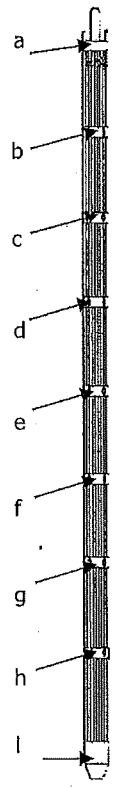
測定機器名	SJC-101	測定機器番号	R13 779 R13 780
-------	---------	--------	--------------------

検査者		検査日	2020.11.6	
検査項目	規格	検査方法	判定	
工程確認記録	工程確認項目（表面汚染）が規格を満足していること。	工程確認項目の判定結果を目視により確認する。	合・否	

顧客確認者		顧客確認日	2020.11.6
-------	--	-------	-----------

再組立燃料集合体検査結果（表面汚染）

契約名	1F6 新燃料所外搬出業務		
部品名	再組立燃料集合体	顧客名	東京電力HD株式会社殿
燃料集合体No.	F6ABN132	検査要領書番号	NTB-6698

確認者		確認日	2020.11.9			
規格	検出限界未満であること。					
測定用試料採取方法	スミヤろ紙1枚で拭取面積100cm ² となるように全体的に採取する。 (測定結果 (Bq/cm ²) を記入する。) 検出限界 (α核種 : 4.17 Bq/cm ² 、α核種以外 : 1745 Bq/cm ²)					
測定対象	試料採取箇所	スミヤ番号	α核種※	α核種以外※	判定	
a. 上部タイプレート	把手部 および側面部	1	N-D	N-D	合・否	
b. 第7スペーサ	側面部	2	✓	✓	合・否	
c. 第6スペーサ	側面部	3	✓	✓	合・否	
d. 第5スペーサ	側面部	4	✓	✓	合・否	
e. 第4スペーサ	側面部	5	✓	✓	合・否	
f. 第3スペーサ	側面部	6	✓	✓	合・否	
g. 第2スペーサ	側面部	7	✓	✓	合・否	
h. 第1スペーサ	側面部	8	✓	✓	合・否	
i. 下部タイプレート	側面部	9	✓	✓	合・否	

※α核種及びα核種以外の項目で同じ数値が連続する場合、レ点用いて記入を簡略化する。

測定機器名	JSC-101	測定機器番号	R13779 R13780
-------	---------	--------	------------------

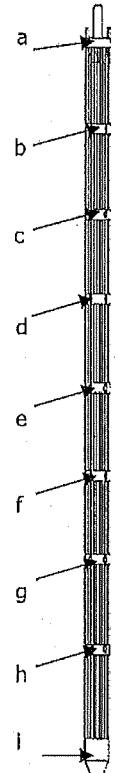
検査者		検査日	2020.11.9
検査項目	規格	検査方法	判定
工程確認記録	工程確認項目（表面汚染）が規格を満足していること。	工程確認項目の判定結果を目視により確認する。	合・否

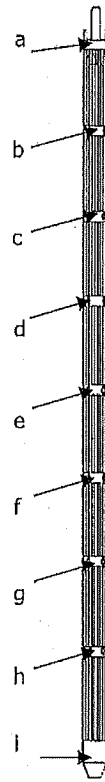
顧客確認者		顧客確認日	2020.11.9
-------	--	-------	-----------

再組立燃料集合体検査結果（表面汚染）

契約名	1F6 新燃料所外搬出業務		
部品名	再組立燃料集合体	顧客名	東京電力HD株式会社殿
燃料集合体No.	F6ABN131	検査要領書番号	NTB-6698

確認者		確認日	2020.11.10		
規格	検出限界未満であること。				
測定用試料採取方法	スミヤろ紙1枚で拭取面積100cm ² となるように全体的に採取する。 (測定結果 (Bq/cm ²) を記入する。) 検出限界 (α核種 : 0.172 Bq/cm ² , α核種以外 : 0.750 Bq/cm ²)				
測定対象	試料採取箇所	スミヤ番号	α核種※	α核種以外※	判定
a. 上部タイプレート	把手部 および側面部	126.11.10 126.11.10	N.D	N.D	(合)・否
b. 第7スペーサ	側面部	20.11.10 2	✓	✓	(合)・否
c. 第6スペーサ	側面部	3	✓	✓	(合)・否
d. 第5スペーサ	側面部	4	✓	✓	(合)・否
e. 第4スペーサ	側面部	5	✓	✓	(合)・否
f. 第3スペーサ	側面部	6	✓	✓	(合)・否
g. 第2スペーサ	側面部	7	✓	✓	(合)・否
h. 第1スペーサ	側面部	8	✓	✓	(合)・否
i. 下部タイプレート	側面部	9	✓	✓	(合)・否





※α核種及びα核種以外の項目で同じ数値が連続する場合、レ点用いて記入を簡略化する。

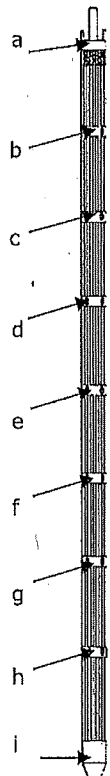
測定機器名	SSC-101	測定機器番号	R13779 R13780
-------	---------	--------	------------------

検査者		検査日	2020.11.10	
検査項目	規格	検査方法	判定	
工程確認記録	工程確認項目（表面汚染）が規格を満足していること。	工程確認項目の判定結果を目視により確認する。	(合)・否	

顧客確認者		顧客確認日	2020.11.10	
-------	--	-------	------------	--

再組立燃料集合体検査結果（表面汚染）

契約名	1F6 新燃料所外搬出業務		
部品名	再組立燃料集合体	顧客名	東京電力HD株式会社殿
燃料集合体No.	F6ABN130	検査要領書番号	NTB-6698

確認者		確認日	2020. 11. 11			
規格	検出限界未満であること。					
測定用試料採取方法	スミヤろ紙1枚で拭取面積100cm ² となるように全体的に採取する。 (測定結果 (Bq/cm ²) を記入する。) 検出限界 (α核種 : 0.174 Bq/cm ² , α核種以外 : 0.73 Bq/cm ²)					
測定対象	試料採取箇所	スミヤ番号	α核種※	α核種以外※	判定	
a. 上部タイプレート	把手部 および側面部	1	N.D	N.D	合・否	
b. 第7スペーサ	側面部	2	✓	✓	合・否	
c. 第6スペーサ	側面部	3	✓	✓	合・否	
d. 第5スペーサ	側面部	4	✓	✓	合・否	
e. 第4スペーサ	側面部	5	✓	✓	合・否	
f. 第3スペーサ	側面部	6	✓	✓	合・否	
g. 第2スペーサ	側面部	7	✓	✓	合・否	
h. 第1スペーサ	側面部	8	✓	✓	合・否	
i. 下部タイプレート	側面部	9	✓	✓	合・否	

※α核種及びα核種以外の項目で同じ数値が連続する場合、レ点用いて記入を簡略化する。

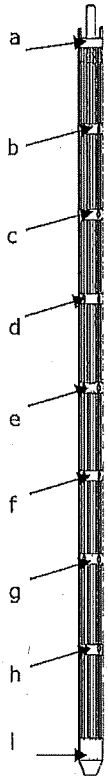
測定機器名	JSC-101	測定機器番号	R13 779 R13 780
-------	---------	--------	--------------------

検査者		検査日	2020.11.11	
検査項目	規格	検査方法	判定	
工程確認記録	工程確認項目（表面汚染）が規格を満足していること。	工程確認項目の判定結果を目視により確認する。	合・否	

顧客確認者		顧客確認日	2020.11.11	
-------	--	-------	------------	--

再組立燃料集合体検査結果（表面汚染）

契約名	1F6 新燃料所外搬出業務		
部品名	再組立燃料集合体	顧客名	東京電力HD株式会社殿
燃料集合体No.	F6ABN129	検査要領書番号	NTB-6698

確認者		確認日	2020.11.12			
規格	検出限界未満であること。					
測定用試料採取方法	スミヤろ紙1枚で拭取面積100cm ² となるように全体的に採取する。 （測定結果（Bq/cm ² ）を記入する。） 検出限界（α核種：0.175 Bq/cm ² 、α核種以外：0.71 Bq/cm ² ）					
測定対象	試料採取箇所	スミヤ番号	α核種※	α核種以外※	判定	
a. 上部タイプレート	把手部 および側面部	1	N-D	N-D	合・否	
b. 第7スパーサ	側面部	2	✓	✓	合・否	
c. 第6スパーサ	側面部	3	✓	✓	合・否	
d. 第5スパーサ	側面部	4	✓	✓	合・否	
e. 第4スパーサ	側面部	5	✓	✓	合・否	
f. 第3スパーサ	側面部	6	✓	✓	合・否	
g. 第2スパーサ	側面部	7	✓	✓	合・否	
h. 第1スパーサ	側面部	8	✓	✓	合・否	
i. 下部タイプレート	側面部	9	✓	✓	合・否	

※α核種及びα核種以外の項目で同じ数値が連続する場合、し点用いて記入を簡略化する。

測定機器名	SSC-101	測定機器番号	R13739 R13780
-------	---------	--------	------------------

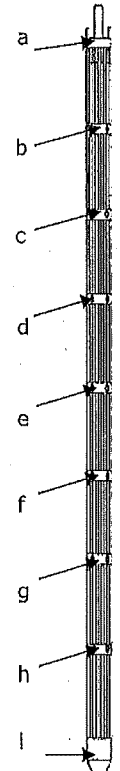
検査者		検査日	2020.11.12	
検査項目	規格	検査方法	判定	
工程確認記録	工程確認項目（表面汚染）が規格を満足していること。	工程確認項目の判定結果を目視により確認する。	合・否	

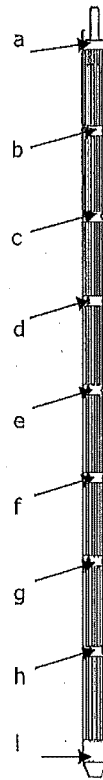
顧客確認者		顧客確認日	2020.11.12	
-------	--	-------	------------	--

再組立燃料集合体検査結果 (表面汚染)

契約名	1F6 新燃料所外搬出業務		
部品名	再組立燃料集合体	顧客名	東京電力HD株式会社殿
燃料集合体No.	F6ABN128	検査要領書番号	NTB-6698

確認者		確認日	2020.11.13		
規格	検出限界未満であること。				
測定用試料採取方法	スミヤろ紙1枚で拭取面積100cm ² となるように全体的に採取する。 (測定結果 (Bq/cm ²) を記入する。) 検出限界 (α核種 : 0.177 Bq/cm ² 、α核種以外 : 0.745 Bq/cm ²)				
測定対象	試料採取箇所	スミヤ番号	α核種※	α核種以外※	判定
a. 上部タイプレート	把手部 および側面部	1	N.D	N.D	合・否
b. 第7スペーサ	側面部	2	✓	✓	合・否
c. 第6スペーサ	側面部	3	✓	✓	合・否
d. 第5スペーサ	側面部	4	✓	✓	合・否
e. 第4スペーサ	側面部	5	✓	✓	合・否
f. 第3スペーサ	側面部	6	✓	✓	合・否
g. 第2スペーサ	側面部	7	✓	✓	合・否
h. 第1スペーサ	側面部	8	✓	✓	合・否
i. 下部タイプレート	側面部	9	✓	✓	合・否





※α核種及びα核種以外の項目で同じ数値が連続する場合、レ点用いて記入を簡略化する。

測定機器名	SSC-101	測定機器番号	R13779 R13780
-------	---------	--------	------------------

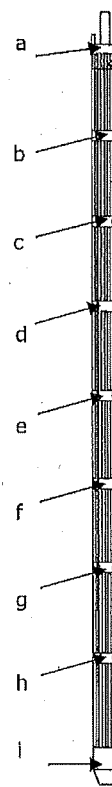
検査者			検査日	2020.11.13	
検査項目	規格	検査方法		判定	
工程確認記録	工程確認項目 (表面汚染) が規格を満足していること。	工程確認項目の判定結果を目視により確認する。		合・否	

顧客確認者			顧客確認日	2020.11.13	
-------	--	--	-------	------------	--

再組立燃料集合体検査結果（表面汚染）

契約名	1F6 新燃料所外搬出業務		
部品名	再組立燃料集合体	顧客名	東京電力HD株式会社殿
燃料集合体No.	F6ABN127	検査要領書番号	NTB-6698

確認者				確認日	2020.11.16
規格	検出限界未満であること。				
測定用試料採取方法	スミヤ紙1枚で拭取面積100cm ² となるように全体的に採取する。 (測定結果 (Bq/cm ²) を記入する。) 検出限界 (α核種: 0.179 Bq/cm ² , α核種以外: 0.145 Bq/cm ²)				
測定対象	試料採取箇所	スミヤ番号	α核種※	α核種以外※	判定
a. 上部タイプレート	把手部 および側面部	1	N.D	N.D	合・否
b. 第7スパーサ	側面部	2	✓	✓	合・否
c. 第6スパーサ	側面部	3	✓	✓	合・否
d. 第5スパーサ	側面部	4	✓	✓	合・否
e. 第4スパーサ	側面部	5	✓	✓	合・否
f. 第3スパーサ	側面部	6	✓	✓	合・否
g. 第2スパーサ	側面部	7	✓	✓	合・否
h. 第1スパーサ	側面部	8	✓	✓	合・否
i. 下部タイプレート	側面部	9	✓	✓	合・否



※α核種及びα核種以外の項目で同じ数値が連続する場合、し点用いて記入を簡略化する。

測定機器名	SSC-101	測定機器番号	R13 779 R13 780
-------	---------	--------	--------------------

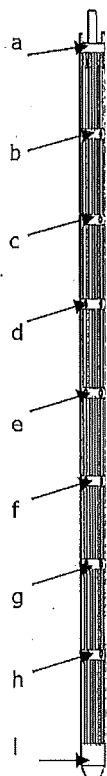
検査者		検査日	2020.11.16
検査項目	規格	検査方法	判定
工程確認記録	工程確認項目（表面汚染）が規格を満足していること。	工程確認項目の判定結果を目視により確認する。	合・否

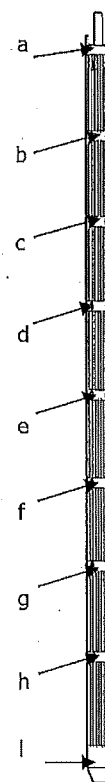
顧客確認者		顧客確認日	2020.11.16
-------	--	-------	------------

再組立燃料集合体検査結果（表面汚染）

契約名	1F6	新燃料所外搬出業務	
部品名	再組立燃料集合体	顧客名	東京電力HD株式会社殿
燃料集合体No.	F6ABN126	検査要領書番号	NTB-6698

確認者		確認日	2020.11.17		
規格	検出限界未満であること。				
測定用試料採取方法	スミヤろ紙1枚で拭取面積100cm ² となるように全体的に採取する。 (測定結果 (Bq/cm ²) を記入する。) 検出限界 (α核種 : 0.122 Bq/cm ² 、α核種以外 : 0.236 Bq/cm ²)				
測定対象	試料採取箇所	スミヤ番号	α核種※	α核種以外※	判定
a. 上部タイプレート	把手部 および側面部	1	N.D	N.D	合・否
b. 第7スペーサ	側面部	2	✓	✓	合・否
c. 第6スペーサ	側面部	3	✓	✓	合・否
d. 第5スペーサ	側面部	4	✓	✓	合・否
e. 第4スペーサ	側面部	5	✓	✓	合・否
f. 第3スペーサ	側面部	6	✓	✓	合・否
g. 第2スペーサ	側面部	7	✓	✓	合・否
h. 第1スペーサ	側面部	8	✓	✓	合・否
i. 下部タイプレート	側面部	9	✓	✓	合・否





※α核種及びα核種以外の項目で同じ数値が連続する場合、レ点用いて記入を簡略化する。

測定機器名	JSC-101	測定機器番号	R13779 R13780
-------	---------	--------	------------------

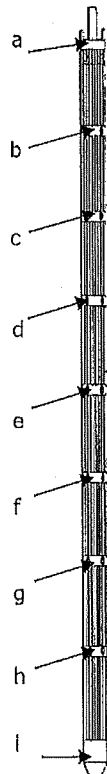
検査者		検査日	2020.11.17	
検査項目	規格	検査方法	判定	
工程確認記録	工程確認項目（表面汚染）が規格を満足していること。	工程確認項目の判定結果を目視により確認する。	合・否	

顧客確認者		顧客確認日	2020.11.17	
-------	--	-------	------------	--

再組立燃料集合体検査結果 (表面汚染)

契約名	1F6	新燃料所外搬出業務
部品名	再組立燃料集合体	顧客名 東京電力HD株式会社殿
燃料集合体No.	F6ABN125	検査要領書番号 NTB-6698

確認者		確認日	2020.11.18		
規格	検出限界未満であること。				
測定用試料採取方法	スミヤク紙1枚で拭取面積100cm ² となるように全体的に採取する。 (測定結果 (Bq/cm ²) を記入する。) 検出限界 (α核種: 2.17 Bq/cm ² , α核種以外: 0.236 Bq/cm ²)				
測定対象	試料採取箇所	スミヤ番号	α核種※	α核種以外※	判定
a. 上部タイプレート	把手部 および側面部	1	N.D	N.D	合・否
b. 第7スペーサ	側面部	2	✓	✓	合・否
c. 第6スペーサ	側面部	3	✓	✓	合・否
d. 第5スペーサ	側面部	4	✓	✓	合・否
e. 第4スペーサ	側面部	5	✓	✓	合・否
f. 第3スペーサ	側面部	6	✓	✓	合・否
g. 第2スペーサ	側面部	7	✓	✓	合・否
h. 第1スペーサ	側面部	8	✓	✓	合・否
i. 下部タイプレート	側面部	9	✓	✓	合・否



※α核種及びα核種以外の項目で同じ数値が連続する場合、レ点用いて記入を簡略化する。

測定機器名	JSC-101	測定機器番号	R13779 R13780
-------	---------	--------	------------------

検査者		検査日	2020.11.18
検査項目	規格	検査方法	判定
工程確認記録	工程確認項目 (表面汚染) が規格を満足していること。	工程確認項目の判定結果を目視により確認する。	合・否

顧客確認者		顧客確認日	2020.11.18
-------	--	-------	------------

再組立燃料集合体検査結果（表面汚染）

契約名	1F6 新燃料所外搬出業務		
部品名	再組立燃料集合体	顧客名	東京電力HD株式会社殿
燃料集合体No.	F6ABN135	検査要領書番号	NTB-6698

確認者		確認日	2020.11.24			
規格	検出限界未満であること。					
測定用試料採取方法	スミヤろ紙1枚で拭取面積100cm ² となるように全体的に採取する。 (測定結果 (Bq/cm ²) を記入する。) 検出限界 (α核種 : 172 Bq/cm ² 、α核種以外 : 850 Bq/cm ²)					
測定対象	試料採取箇所	スミヤ番号	α核種※	α核種以外※	判定	
a. 上部タイプレート	把手部 および側面部	1	N.D	N.D	合・否	
b. 第7スペーサ	側面部	2	✓	✓	合・否	
c. 第6スペーサ	側面部	3	✓	✓	合・否	
d. 第5スペーサ	側面部	4	✓	✓	合・否	
e. 第4スペーサ	側面部	5	✓	✓	合・否	
f. 第3スペーサ	側面部	6	✓	✓	合・否	
g. 第2スペーサ	側面部	7	✓	✓	合・否	
h. 第1スペーサ	側面部	8	✓	✓	合・否	
i. 下部タイプレート	側面部	9	✓	✓	合・否	

※α核種及びα核種以外の項目で同じ数値が連続する場合、レ点用いて記入を簡略化する。

測定機器名	SSC-101	測定機器番号	R13779 R13780
-------	---------	--------	------------------

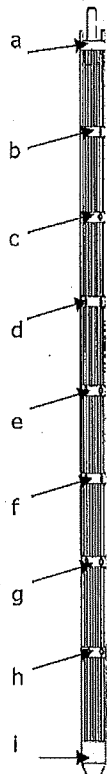
検査者		検査日	2020.11.24	
検査項目	規格	検査方法	判定	
工程確認記録	工程確認項目（表面汚染）が規格を満足していること。	工程確認項目の判定結果を目視により確認する。	合・否	

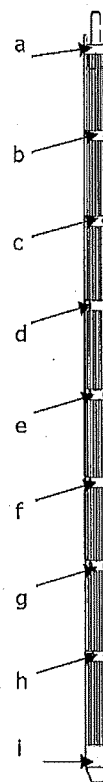
顧客確認者		顧客確認日	20.11.24	
-------	--	-------	----------	--

再組立燃料集合体検査結果 (表面汚染)

契約名	1F6 新燃料所外搬出業務		
部品名	再組立燃料集合体	顧客名	東京電力HD株式会社殿
燃料集合体No.	F6ABN136	検査要領書番号	NTB-6698

確認者		確認日	2020.11.25		
規格	検出限界未満であること。				
測定用試料採取方法	スミヤク紙1枚で拭取面積100cm ² となるように全体的に採取する。 (測定結果 (Bq/cm ²) を記入する。) 検出限界 (α核種 : 0.179 Bq/cm ² 、α核種以外 : 0.74 Bq/cm ²)				
測定対象	試料採取箇所	スミヤ番号	α核種※	α核種以外※	判定
a. 上部タイプレート	把手部 および側面部	1	N.D	N.D	合・否
b. 第7スペーサ	側面部	2	✓	✓	合・否
c. 第6スペーサ	側面部	3	✓	✓	合・否
d. 第5スペーサ	側面部	4	✓	✓	合・否
e. 第4スペーサ	側面部	5	✓	✓	合・否
f. 第3スペーサ	側面部	6	✓	✓	合・否
g. 第2スペーサ	側面部	7	✓	✓	合・否
h. 第1スペーサ	側面部	8	✓	✓	合・否
i. 下部タイプレート	側面部	9	✓	✓	合・否





※α核種及びα核種以外の項目で同じ数値が連続する場合、レ点用いて記入を簡略化する。

測定機器名	SSC-101	測定機器番号	R13379 R13380
-------	---------	--------	------------------

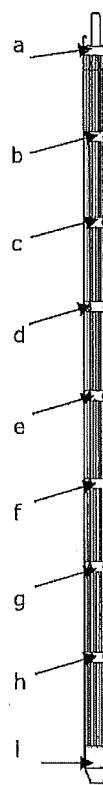
検査者		検査日	2020.11.25	
検査項目	規格	検査方法	判定	
工程確認記録	工程確認項目 (表面汚染) が規格を満足していること。	工程確認項目の判定結果を目視により確認する。	合・否	

顧客確認者		顧客確認日	2020.11.25	
-------	--	-------	------------	--

再組立燃料集合体検査結果 (表面汚染)

契約名	1F6 新燃料所外搬出業務		
部品名	再組立燃料集合体	顧客名	東京電力HD株式会社殿
燃料集合体No.	F6ABN137	検査要領書番号	NTB-6698

確認者		確認日	2020.11.26		
規格	検出限界未満であること。				
測定用試料採取方法	スミヤろ紙1枚で拭取面積100cm ² となるように全体的に採取する。 (測定結果 (Bq/cm ²) を記入する。) 検出限界 (α核種 : 0.177 Bq/cm ² 、α核種以外 : 0.716 Bq/cm ²)				
測定対象	試料採取箇所	スミヤ番号	α核種※	α核種以外※	判定
a. 上部タイプレート	把手部 および側面部	1	N.P	N.D	合・否
b. 第7スペーサ	側面部	2	✓	✓	合・否
c. 第6スペーサ	側面部	3	✓	✓	合・否
d. 第5スペーサ	側面部	4	✓	✓	合・否
e. 第4スペーサ	側面部	5	✓	✓	合・否
f. 第3スペーサ	側面部	6	✓	✓	合・否
g. 第2スペーサ	側面部	7	✓	✓	合・否
h. 第1スペーサ	側面部	8	✓	✓	合・否
i. 下部タイプレート	側面部	9	✓	✓	合・否



※α核種及びα核種以外の項目で同じ数値が連続する場合、レ点用いて記入を簡略化する。

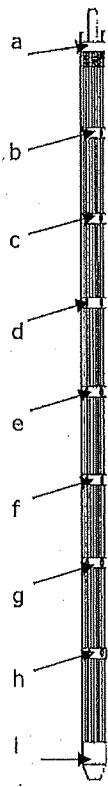
測定機器名	SJC-101	測定機器番号	R13 779 R13 780
-------	---------	--------	--------------------

検査者		検査日	2020.11.26	
検査項目	規格	検査方法	判定	
工程確認記録	工程確認項目 (表面汚染) が規格を満足していること。	工程確認項目の判定結果を目視により確認する。	合・否	

顧客確認者		顧客確認日	2020.11.26	
-------	--	-------	------------	--

再組立燃料集合体検査結果 (表面汚染)

契約名	1F6 新燃料所外搬出業務		
部品名	再組立燃料集合体	顧客名	東京電力HD株式会社殿
燃料集合体No.	F6ABN138	検査要領書番号	NTB-6698

確認者		確認日	2020.11.27			
規格	検出限界未満であること。					
測定用試料採取方法	スミヤろ紙1枚で拭取面積100cm ² となるように全体的に採取する。 (測定結果 (Bq/cm ²) を記入する。) 検出限界 (α核種: 2125 Bq/cm ² , α核種以外: 270 Bq/cm ²)					
測定対象	試料採取箇所	スミヤ番号	α核種※	α核種以外※	判定	
a. 上部タイプレート	把手部 および側面部	1	N-D	N-D	合・否	
b. 第7スペーサ	側面部	2	✓	✓	合・否	
c. 第6スペーサ	側面部	3	✓	✓	合・否	
d. 第5スペーサ	側面部	4	✓	✓	合・否	
e. 第4スペーサ	側面部	5	✓	✓	合・否	
f. 第3スペーサ	側面部	6	✓	✓	合・否	
g. 第2スペーサ	側面部	7	✓	✓	合・否	
h. 第1スペーサ	側面部	8	✓	✓	合・否	
i. 下部タイプレート	側面部	9	✓	✓	合・否	

※α核種及びα核種以外の項目で同じ数値が連続する場合、レ点用いて記入を簡略化する。

測定機器名	SSC-101	測定機器番号	R18 779 R18 780
-------	---------	--------	--------------------

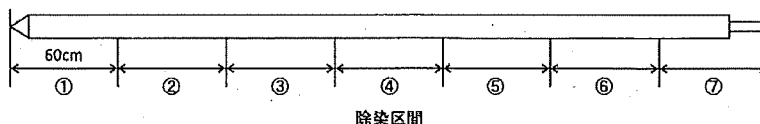
検査者		検査日	2020.11.27	
検査項目	規格	検査方法	判定	
工程確認記録	工程確認項目 (表面汚染) が規格を満足していること。	工程確認項目の判定結果を目視により確認する。	合・否	

顧客確認者		顧客確認日	20.11.27
-------	--	-------	----------

曲がり燃料棒検査結果 Yゾーン (表面汚染)

契約名	1F6	新燃料所外搬出業務	
部品名	曲げ戻し燃料棒 (AJC781)	顧客名	東京電力HD株式会社殿
燃料集合体No.	F6ABN123	作業要領書番号	NTB-6798

確認者		確認日	2020. 4. 24
-----	--	-----	-------------



A 除染前の部分スミヤ検査(作業手順(3) No.3 除染区間①)

除染区間	区間番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
	スミヤ番号		—	—	—	—	—	—
スミヤ結果	カウント数(GM管)	BG	—	—	—	—	—	—
※	α核種※※	ND	—	—	—	—	—	—
(cpm)	α核種以外※※	60.63	—	—	—	—	—	—

※除染区間①から測定を行い、汚染が確認された区間以降は測定を行わないため、"—"を記入する。

※※GM管での測定でカウント数が200cpmを超えた場合はサンプルチェンジャーでの測定は行わないため、"—"を記入する。

B 除染時の部分スミヤ検査(作業手順(3) No.4)

除染区間	区間番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
スミヤ番号	スミヤ番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
スミヤ結果	α核種	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
(cpm)	α核種以外	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
判定		合・否	合・否	合・否	合・否	合・否	合・否	合・否

C 除染完了後のスミヤ検査

除染区間	区間番号	燃料棒全長 ⑧, ⑨
核種	α核種(cpm)	ND
	α核種以外(cpm)	ND
判定		合・否

顧客確認者		顧客確認日	2020. 4. 24
-------	--	-------	-------------

曲げ戻し燃料棒検査結果 Gゾーン (表面汚染)

契約名	1F6 新燃料所外搬出業務		
部品名	曲げ戻し燃料棒 (AJC781)	顧客名	東京電力HD株式会社殿
燃料集合体No.	F6ABN123	作業要領書番号	NTB-6798-1

		確認日		2020 . 4 . 27	
規格	検出限界未満であること。(測定結果(Bq/cm ²)を記入する。) 検出限界 (α核種: 0.233 Bq/cm ² , α核種以外: 0.715 Bq/cm ²)				
曲がり燃料棒No.	スミヤ番号	α核種	α核種以外	判定	確認者
AJC781	1	N/D	N/D	合・否	

曲げ戻し燃料棒検査結果 Gゾーン (外観、真直度)

契約名	1F6 NFI製新燃料所外搬出業務		
部品名	曲げ戻し燃料棒 (AJC781)	顧客名	東京電力HD株式会社殿
燃料集合体No.	F6ABN123	作業要領書番号	NTB-6798-1

検査日		2020 . 4 . 27			
検査項目	規格		検査方法		
外観	損傷	表面に傷等で有害なものがないこと。 傷等の深さが0.05mm未満: 合 傷等の深さが0.05mm以上: 否→下記備考欄で当該部分のスミヤ採取実施		燃料棒挿入作業台ガイドローラ上で曲げ戻し燃料棒を回転させ、全長及び全周に亘って目視により確認する。	
	表面清浄度	除去不可能と思われる異物の付着がないこと。		燃料棒挿入作業台ガイドローラ上で曲げ戻し燃料棒を回転させ、全長及び全周に亘って目視により確認する。	
真直度		真直度検査管を挿入できること。		燃料棒挿入作業台ガイドローラ上で曲げ戻し燃料棒を真直度検査管に挿入できることを確認する。	
曲げ戻し燃料棒No.		損傷	清浄度	真直度	検査者
AJC781		合・否	合・否	合・否	

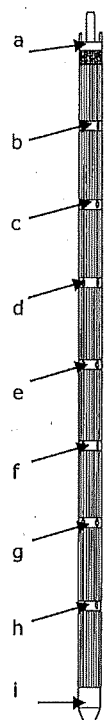
備考: 外観検査で損傷結果が【否】判定の場合、当該場所をスミヤ2回採取する。検出限界未満であること。

曲げ戻し燃料棒No.	スミヤ番号	α核種	α核種以外	判定	確認者
				合・否	
				合・否	

顧客確認者		顧客確認日	2020. 4 . 27
-------	--	-------	--------------

再組立燃料集合体検査結果（表面汚染）

契約名	1F6	新燃料所外搬出業務	
部品名	再組立燃料集合体	顧客名	東京電力HD株式会社殿
燃料集合体No.	F6ABN123	検査要領書番号	NTB-6698

確認者		確認日	2020.4.27			
規格	検出限界未満であること。					
測定用試料採取方法	スミヤろ紙1枚で拭取面積100cm ² となるように全体的に採取する。 (測定結果 (Bq/cm ²) を記入する。) 検出限界 (α核種: 0.233 Bq/cm ² , α核種以外: 0.775 Bq/cm ²)					
測定対象	試料採取箇所	スミヤ番号	α核種※	α核種以外※	判定	
a. 上部タイプレート	把手部 および側面部	1	ND	ND	合・否	
b. 第7スパーサ	側面部	2	ND	ND	合・否	
c. 第6スパーサ	側面部	3	ND	ND	合・否	
d. 第5スパーサ	側面部	4	ND	ND	合・否	
e. 第4スパーサ	側面部	5	ND	ND	合・否	
f. 第3スパーサ	側面部	6	ND	ND	合・否	
g. 第2スパーサ	側面部	7	ND	ND	合・否	
h. 第1スパーサ	側面部	8	ND	ND	合・否	
i. 下部タイプレート	側面部	9	ND	ND	合・否	

※α核種及びα核種以外の項目で同じ数値が連続する場合、し点用いて記入を簡略化する。

測定機器名	SSC-101	測定機器番号	R13 779 R13 780
-------	---------	--------	--------------------

検査者		検査日	2020.4.27
検査項目	規格	検査方法	判定
工程確認記録	工程確認項目（表面汚染）が規格を満足していること。	工程確認項目の判定結果を目視により確認する。	合・否

顧客確認者		顧客確認日	2020.4.27
-------	--	-------	-----------